

勿来第一中学校だより

く ん ぶ う



薫風



発行責任者 校長 丹野 英雄

第7号 令和4年8月26日発行

ゆえん
【校章の所以】

平和の鳩を表すと
ともに中学の中を
表す。また、勿来
の関の桜や「勿」
のデザインをイメ
ージしている。

それぞれの思いを胸に過ごした夏休み。3年生は、目標とする進路の実現に向け、計画的に学習に励んだり県立高校等の体験入学に参加したりする姿が見受けられました。また、1・2年生は新人大会に向け、心と体を鍛え、ひとまわり大きく成長しました。2学期の活躍が楽しみです。

さて、いわき市内は新型コロナウイルスの1日あたり新規感染者数が900人を超えるような高止まりの状況にあります。そこで、始業式は、3密を避けるためリモートで実施しました。全校生徒が一堂に会することはできませんでしたが、電子黒板をとおして代表生徒が発表する2学期の目標を食い入るように見つめていました。生徒は、それぞれ「こんな2学期にしたい。」という強い思いを抱いています。教職員はその思いを実現できるように指導・支援していきます。

その手はじめに、8月26日(金)から9月1日(木)にかけて学級担任が生徒本人との教育相談を行います。それぞれの生徒が思い描いている目標を実現する上で、本人がやるべきことや周囲の手

助けが必要なことなどを確認しながら実効ある取り組みを促すようにします。

さて、部活動に関して、現在は1・2年生が主体となっていますが、駅伝は3年生の活躍の場が確保されています。市大会は9月8日(木)に21世紀の森公園で開催されます。この大会に向け、男女あわせて約30名の選手が、練習に励み現在も試走を繰り返しています。なお、今年度はグリーンフィールドの改修工事に伴い、例年とはコースが異なっていますので、選手の皆さんには留意してほしいと思います。

始業式後には選手激励会を行って、士気を高め合いました。大会当日も選手の激走に期待し、みんなの熱い気持ちを送る心づもりでいます。選手の皆さんには、思いを襷に込めて上位大会への出場権をつかみ取ってほしいと思います。

また、市英語弁論大会に出場する生徒による弁論の披露もありました。発音や表現の仕方など十分に練習を重ねたことが伝わってくる発表でした。大会当日も熱い想いを英語で表現してくれるものと期待しています。

暑い夏にも走り込みを続け、鍛え抜いた強靱な身体です。駅伝大会では、熱いレース展開が予想されます。頑張れ！ナコイチメンバー！



始業式は3密を避けるためリモートで実施しました。2学期の抱負や目標を熱く発表する代表生徒に注目しています。2学期も文化・運動両面にわたって本校生徒の活躍が期待されます。



大きく飛躍する2学期にしたい！

ありのままの自分を、ありのままに受け容れている？

自分を「かけがえのない存在」だと感じることができるとは、そう感じることができる人は、自尊心が身に付いている人だと言えます。近年、日本の子供の自尊心は、世界中でも特に低いと言われていいます。その背景には、幼い頃の大人からの扱われ方や謙虚さを美德とする日本人独特の文化が影響しているとの指摘もあります。13歳から29歳の若者を対象に2017年に実施した意識調査において、「自分自身に満足しているか」との問いに、アメリカ人の87%が「そう思う、どちらかといえばそう思う」と答えたのに対し、日本人は45.1%しかありませんでした。韓国、イギリス、フランス、スウェーデン、ドイツなどの他国でも平均は80%近くでした。また、「長所があると感じているか」との問いに、アメリカ人の91.2%が肯定的な答えだったのに対し、日本人は諸外国中で一番低く62.3%でした。

世界のどこの国や地域でも生まれてから幼稚園・保育所に行くまでの間、つまり社会に属する前までは、周囲が抑えつけない限り、子供はみんな自尊心が高く、初めてのことに果敢に挑戦し、自信に満ち溢れた行動をします。3歳くらいまでは、親も祖父母も子供を誉めて伸ばすからです。ところが、日本では、幼稚園・保育所や学校に属したり勉強を始めたりした途端に、自尊心が低くなっていきます。親が子供に周囲と同じようにできることを求めてしまったり、親自身も他の母親や父親と自分を比較してしまったりするからです。「這えば立て、立てば歩めの親心、歩めば勉強せいと言ひ」という川柳があります。生まれた頃は、あるがままの我が子が愛おしく、この上ない存在と受け容れていたのに対し、我が子が成長するに当たって、より多くのことを求めてしまう切ない親心を表していると言えるでしょう。

ところで、幼い子供は、ヒーローごっこをする時、必ず自分がヒーロー役をしたがります。「今日は、ボクが怪獣をやるよ！お父さんがウルトラマンになってボクをやっつけて！」とは言いません。いつの時代も、どんな

子供も、カッコいいウルトラマンに自分を投影し、正義に満ち溢れ、万能なウルトラマンになりたがります。女の子ならセーラームーンやプリキュアですかね。しかし、真実の自分は、ウルトラマンやプリキュアでないことを経験を通して学んでいきます。「ウルトラマンだと思っていた自分」と「ウルトラマンではない真実の自分」のギャップに気づきます。そして、成長の過程で、「ウルトラマンではない自分」を受け容れる準備をします。

私たちは誰もがみんな、残念ながらウルトラマンではありません。上手い出来ないこともたくさんあるし、誤解されることも、嫌われることもあるのが当たり前です。いつも優しく穏やかな自分でいられるわけではなく、人を恨んだり妬んだりひがんだりする自分もいます。自分の中に存在する「目をそらしておきたい、なかったことにしておきたい、ウルトラマンではない自分…」受け容れがたい自分を何とか受け容れようと、子供はもがきながら成長します。そのような時、そばにいる親や大人が「ありのままの自分でいいんだよ」というメッセージを発し続けてあげると、子供は「ウルトラマンではない自分」を受け容れることができ、自尊心も再び高まってきます。

外見、性格、長所や短所、学業成績、運動能力、ハンディキャップなど、全てひっくるめて「弱い自分も、ダメな自分も、自分自身だ。あるがままの自分でいいんだ。」と受け容れた子供は、何事に対しても積極的に取り組み、豊かな体験を積み重ねていく中で、さらに自信をつけ、自分ばかりでなく他者をも受け容れることができるようになります。つまり、自尊心が高い人は、自分を大切にするだけでなく、人への思いやりを持つことができ、ますます魅力的な人になっていきます。自尊心が高い人とは、決して威張る人という意味ではなく、自分の欠点を認めつつも自分を受け容れ、人に対しても優しく、そして前向きに生きている人と言えます。「自分も他者も価値ある人だと思える」「自分も他者も好きだと思える」「自分も他者も大切に思える」全ての生徒がそういった感覚を持って生活できるように学校を挙げて支援していきたいと考えています。

【教育目標】

自ら進んで学習する生徒
礼儀正しく思いやりのある生徒
心身共に健康でたくましい生徒



QRコードを読み取ると本校ホームページにつながります。

〒979-0141

福島県いわき市勿来町窪田伊賀屋敷102番地の2

TEL 0246-64-7221 FAX 0246-64-7264

E-mail : nakoso1-jh@city.iwaki.lg.jp